

アマモの種まき講座 開催しました！




■1日目 平成28年10月30日(日曜日) 香川県水産試験場にて

2日目 平成28年12月4日(日曜日) 直島町京の上臈島にて

■講師 香川県水産試験場長 川西 敦

■1日目 香川県水産試験場

10月30日(日曜日)に、香川県水産試験場でアマモの種まき講座(1日目)を開催しました。
海草(アマモ)の種まきという専門的な講座にもかかわらず、15名の方にご参加いただきました。
講座は、香川県水産試験場 川西場長の「香川の魚の話」から始まり、同試験場松岡主任研究員から、アマモの生活史・造成手法・アマモ場面積の推移・播種(種まき)後の状況について講義を行いました。皆さん非常に熱心に聴講いただき、講義後の質問コーナーでは時間いっぱいまで多数の質問がありました。

●香川県水産試験場での講義



アマモの種まきでは、海底に蒔いた種が、流されずにうまく芽を出すように、種と砂を入れた袋を作って種まきをするのですが、アマモの種の拾い出し(1個の袋にアマモの種を100個！入れます)やミシンで縫って袋を作るといった工程も、実際の作業そのままに体験いただきました。受講された方は、慣れない作業ながら、楽しんで体験されていました。

●種まき袋作成体験



■2日目 直島町京の上臈島(じょうろうじま)

12月4日(日曜日)直島町京の上臈島にて、アマモの種まき講座2日目を開催しました。



8名の方が参加され、高松港に集合した後、香川県漁業指導船「ことぶき」に乗船、川西場長からアマモ造成事業や直島の漁業について解説を聞きながら、約30分で京の上臈島に到着しました。

●香川県漁業指導船「ことぶき」乗船



● 船内での解説



現場では、通話機と水中カメラを使って、海中のダイバーとの会話を楽しみながら、講座1日目に作ったアマモの種袋を海底に植えていく様子を見学しました。アマモの種袋には、牡蠣の殻を利用したタグが付けてあり、自分が作った種袋が分かるようにしてあります。自分が作ったアマモ種袋がダイバーによって播種(種まき)される様子をモニターした受講者の方々からは、喜びの声が多数上がると同時に、自然環境を維持していく事の難しさを学びました！

● アマモ種まき解説・水中作業見学

